

会 員 各位

一般社団法人石川県歯科医師会  
会 長 飯 利 邦 洋

## 令和5年度歯科医療関係者感染症予防講習会のお知らせ

時下益々ご清祥の段お慶び申し上げます。

さて、下記の通り講習会を開催いたしますのでお繰合わせの上、多数ご出席、ご研鑽下さいますようお願いいたします。

尚、本講習会は、歯科点数表の初診料の注1に規定する施設基準（歯初診）の届出に必要な「歯科外来診療の院内感染防止対策に係る標準予防策及び新興感染症に対する対策の研修」の要件を満たしています。

### 記

日 時	令和5年11月26日（日） 10:00～12:15
会 場	石川県歯科医師会館（会場参加 定員100名） 石川県金沢市神宮寺3丁目20番5号 「ZOOM ウェビナー」併用
演 題	『歯科診療に係る HIV や HBV、COVID-19 等の病原体各々の特徴を 踏まえた院内感染対策等について』
講 師	昭和大学歯学部 客員教授 片山 繁樹 先生
対 象	歯科医療関係者（参加費無料）

資料・修了証 会場参加…当日配布（テキスト、サブテキスト、受講修了証）  
オンライン参加…日本歯科医師会より事前にテキスト、  
事後に受講修了証が直接郵送されます。  
サブテキストは石川県歯科医師会よりメール送信予定

※会場参加の方は、日歯生涯研修単位登録のため日歯生涯研修 IC カードをご持参ください。

オンライン参加の方には講習会終了時に日歯生涯研修単位登録用 URL と QR コードを公開いたします。各自で単位登録をお願いいたします。当日オンライン参加の方も日歯生涯研修 IC カードをご用意ください。

※参加ご希望の方は、令和5年11月3日（金）※締切厳守までに、下記コード・URLよりお申込みください。WEB フォームからのお申込みが難しい場合は、事務局へご連絡ください。（TEL 076-251-1010）招待状・オンライン参加 URL は、自動返信にてお送りします。

※オンラインの受講にはインターネット環境、ZOOM のインストールが必要です。

※講習会 URL の転送や開示、また講演会の録画、録音はお控えください。

※受講修了証を発行する都合上、遅刻・早退はご遠慮ください。受信環境不良による視聴不良の報告が多数寄せられております。Wi-Fi 環境の整った場所、有線下でのご視聴をお願いいたします。個々のネット環境や端末の不具合により受講できなかった場合は、救済できませんのでご了承ください。

【登録用 URL】

<https://www.ida1926.or.jp/l/20231126.php>



# 歯科診療に係る HIV や HBV、COVID-19 等の病原体各々の特徴を踏まえた 院内感染対策等について

昭和大学歯学部 客員教授 片山 繁樹

J. Reason は、著書「組織事故」の中で、「安全への取組みは、最後の勝利なき長期のゲリラ戦である」と例えています。「決して勝たない。決して終わらない。敵の発見が困難（潜伏している）。手を抜くとやられる。リターンマッチはない。」本当に厳しい戦いです。「安全は存在しない。リスクのみ存在する。」のだという事を肝に銘じなければなりません。

歯科医療における感染症予防に関しては、以前より HIV や HBV との闘いがありました。これまでスタンダードプリコーション（標準予防策）を武器に負けない戦いを続けてきましたが、令和2年2月からはすっかり様変わりしました。横浜港にダイヤモンドプリンセス号が入港し、それまでの HIV・HBV に加えて、COVID-19 という強敵との永い永い戦いが始まりました。

それから3年余りが経過し、本年5月8日、COVID-19 は、「新型インフルエンザ等感染症」から「5類感染症」に移行されました。その結果、法律に基づき行政が様々な要請・関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重し、国民の自主的な取組みをベースとした対応に変わりました。

しかしながら、先日、昭和大学二木芳人客員教授にお聴きしたところ、新型コロナは変異を続けていて、まだまだ注意が必要との事ですので、歯科医療関係者一丸となってこれからも戦っていかなければなりません。

日本歯科医師会（日歯）では当初より、新型コロナ感染症拡大を踏まえた歯科医療提供について、日本歯科医学会連合等の見解も踏まえつつ、感染拡大時、緊急事態宣言時等で、歯科医療機関に対する留意事項等について周知してきました。それを受けて歯科医療機関では、日頃から徹底している「マスク」「ゴーグル」「手袋」の着用といった標準予防策に加えて、新たな感染予防策を講じてきました。

令和2年8月3日には世界保健機関（WHO）より「新型コロナウイルス感染症（COVID19）禍における必須の歯科保健医療サービス提供に関する考察」と題した暫定ガイダンスが発出されました。

日歯は、同年8月11日に日本歯科医学会連合や厚生労働省とも協力して、これまでの対応や留意事項を整理し、「新たな感染症を踏まえた歯科診療の指針」を公表しました。そして、この指針に沿った感染防止策を強化しつつ、必要な歯科保健医療提供は維持することが重要である事を周知しました。

私の所属する神奈川県歯科医師会（県歯）においては、同年8月20日より感染対策強化型診療所の認定制度を開始しました。その際、感強診審査機構認定審査委員会委員として携わらせていただきました。5類への移行という事ではありますが、院内感染対策として大変参考になると思いますので、この取組みについても触れたいと思います。

そして、これらのすべての取組みが歯科診療所でのクラスターの発生を防いできたのだらうと推察します。

さて、私は昭和63年に歯科医師会に入会以降、これまで医療管理畑を歩んできました。平成19年の医療法改正「良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等の一部を改正する法律」の施行を前にして、平成18年より県歯医療安全特別委員会委員として関わり、『歯科診療における予防15項目』の冊子の作成に関わりました。これは神奈川県池田正一客員教授を中心とした委員会で検討して作成したもので、コロナ以前の感染予防の基本的な事項になります。今回、各項目について解説します。

平成 21 年からは県歯理事として、平成 25 年からは日歯歯科医療安全対策委員会委員として、さらに、平成 27 年からは日歯理事として医療管理・医療安全を担当しました。

県歯の折には、肝炎患者さんが歯科等で差別されているという事案が神奈川県議会で取り上げられ、対応したことがありました。日歯理事としては「ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会」を 2 年間担当し、東村山にある『多磨全生園』に聞き取り調査に出向き、入所者から直接お話を伺う機会がありました。亡くなって骨になっても 9 割の方は引き取られないという悲しい現実の中、座長の多田羅浩三大阪大学名誉教授らと共に、納骨堂にお参りしました。疾病による差別を防止する取組みが大切だと感じました。

日本歯科医学会においては、日本歯科医療管理学会にて平成 28 年から令和 2 年まで副理事長として、また、医学会評議員として関わり、本年 6 月まで学術講演委員会副委員長を担当していました。

大学では、開業後も兼任講師として関わっていましたが、平成 16 年から昭和大学歯学部客員教授として歯科病院に勤務しており、研修医や学生の指導をすると共に、病院の医療安全講習に参加したり、講演させていただいたりするなど、色々な取組みに携わってきました。

今回は、これまでのこれらの経験での知見をご紹介しますとともに、歯科診療所の臨床現場において如何に院内感染対策を強化し、実行していくべきか、を中心にお話ししたいと思います。本講習が皆様のお役に立てれば幸いです。

## 【講師略歴】

片山 繁樹 (かたやま しげき) (昭和 32 年 4 月 12 日生)

昭和 57 年 3 月 東京医科歯科大学歯学部卒業  
同年 4 月 昭和大学歯学部第 3 歯科補綴学講座研究生  
同年 6 月 同上 助手  
昭和 63 年 5 月 同上 講師  
同年 7 月 横浜市港北区にて片山歯科医院開設  
昭和 64 年 1 月 昭和大学歯学部兼任講師  
平成 16 年 1 月 昭和大学歯学部客員教授 (～現在)  
平成 18 年 4 月 神奈川県歯科医師会医療安全特別委員会委員 (～23 年 3 月)  
平成 21 年 4 月 神奈川県歯科医師会理事  
(新法人・医療管理・医療安全・医事処理) (～27 年 6 月)  
神奈川県医療安全推進協議会委員  
横浜地方裁判所医療訴訟関係協議会委員  
平成 25 年 7 月 日本歯科医師会歯科医療安全対策委員会委員 (～27 年 6 月)  
平成 27 年 7 月 日本歯科医師会理事 (医療管理・医療安全・税務) (～29 年 6 月)  
「ハンセン病問題に関する検証会議の提言に基づく再発防止検討会」委員  
平成 28 年 7 月 日本歯科医療管理学会副理事長 (～令和 2 年 6 月)  
平成 30 年 7 月 日本歯科専門医機構学会専門医小委員会副委員長 (～令和 4 年 6 月)  
令和元年 7 月 横浜市港北区歯科医師会会長・横浜市歯科医師会理事 (～現在)  
令和 2 年 8 月 神奈川県歯科医師会 感染対策強化型診療所認定審査機構  
認定審査委員会委員 (～令和 5 年 3 月)

### 【所属学会・役職・資格】

昭和大学 博士（歯学）

昭和大学歯学部歯科保存学講座総合診療歯科学部門客員教授

日本歯科医療管理学会元副理事長 認定医・指導医・代議員

日本補綴歯科学会 終身指導医

医療の質・安全学会 会員

新横浜歯科衛生士・歯科技工士専門学校非常勤講師

歯科医師臨床研修指導歯科医

歯科医師国民年金基金参与

### 【主著等】

- ・ 歯科医院における新型コロナへの対応-もしスタッフや通院患者に感染した者がいたら  
(共著) 日本歯科評論 P16-18 2021年7月号
- ・ トラブル事例に学ぶ歯科訪問診療 (共著) 2019年5月インテッセンス出版
- ・ 新版 歯科医療管理 安全・安心・信頼の歯科医療を提供するために日本歯科医療管理学会編  
(共著) 2018年7月 医歯薬出版
- ・ 歯科診療における HIV HBV HCV 感染予防対策 Q&A  
(共著) 2017年3月 改訂 公益社団法人 日本歯科医師会
- ・ 判例から見た医療安全 歯科医療に求められる戦略的なリーガルリスクマネジメント  
(共著) 2014年10月 わかば出版
- ・ 未就業歯科衛生士の復職に関する研究  
(共著) 日本歯科医療管理学会雑誌 45(4), 286-293、2011年2月
- ・ 新・診療室が変わる本 すぐに役立つ新アイデア 100  
(共著) 2005年10月クインテッセンス出版